

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：金融対策費

事業名 中小企業制度融資貸付金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 商業・金融課 資金融資係 電話番号：058-272-1111(内3646)

E-mail : c11363@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 37,742,450 千円 (前年度予算額： 38,747,550 千円)

<財源内訳>

| 区分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | |
|-----|------------|---------|---------|-----------|---------|-------|------------|-----|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使 用 料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄 附 金 | そ の 他 | 県 債 |
| 前年度 | 38,747,550 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 38,747,550 | 0 |
| 要求額 | 37,742,450 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 37,742,450 | 0 |
| 決定額 | | | | | | | | |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

経済金融環境の変化の中で、中小企業が成長発展していくために、必要な金融ニーズに適切に応えていくことが求められており、県・金融機関・岐阜県信用保証協会が協力し、県内中小企業者等の事業活動の活性化と経営の安定に必要な資金を低利で供給し、県内産業を活性化及び発展させる。

(2) 事業内容

県が資金の一部を金融機関に預託することにより、金融機関の協調を得て低利の融資制度を実現し、金融機関や岐阜県信用保証協会が個別に審査をした上で、県の定めた融資条件により金融機関が融資を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

令和7年9月までの新規融資実績額をベースに新規融資枠を設定し、それに見合う貸付金（預託金）を予算化する。

資金別

| | | |
|-----------|---------------|-----------------|
| ①一般資金 | 7,513,150 千円 | |
| ②元気企業育成資金 | 13,566,750 千円 | |
| ③特別経済対策資金 | 3,845,050 千円 | |
| ④災害対策資金 | 12,817,500 千円 | 計 37,742,450 千円 |
| 新規・継続 | | |
| ①新規融資分 | 7,821,750 千円 | |
| ②継続融資分 | 29,920,700 千円 | 計 37,742,450 千円 |

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|------------|-------------|
| その他 | 37,742,450 | 中小企業制度融資貸付金 |
| 合計 | 37,742,450 | |

決定額の考え方

| |
|--|
| |
| |

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

制度融資運営においては、すべての都道府県で、預託、信用保証料補給、利子補給、損失補償など何らかの支援措置を実施している。

(2) 後年度の財政負担

過去の融資実績に基づく継続分の預託金

(3) 事業主体及びその妥当性

低利の融資制度を実現することで、中小企業の成長発展を支援し、県内産業の活性化及び発展につなげることは、県の役割であり、当該経費を支出することは妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

| |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

取扱金融機関へ県の資金を預託することで長期、固定、低金利の融資制度を構築し、中小企業者の資金調達を円滑化する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R6年度 実績 | R7年度 予算額 | R8年度 予算額 | 終期目標 (R) | 達成率 |
|--------------------------|--------------|------------|-------------|-------------|-------------|-----|
| 新規融資実績 (金額) | | 471億円 | 356億円 | 313億円 | | |
| 岐阜県内企業倒産件数 (TSR情報)※年間 | | 122件 | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------------------|---|
| 令和 4 年 度 | ◆新規融資実績 件 数：2,252件 融資額：252億円 ※特に、新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰等の影響により売上 が減少した事業者に対する資金繰りに寄与した。 |
| | 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ % |
| 令和 5 年 度 | ◆新規融資実績 件 数：4,022件 融資額：620億円 ※特に、新型コロナウイルス感染症等により売上が減少した事業者の「民間ゼ ロゼロ融資」の返済対応に寄与した。 |
| | 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ % |
| 令和 6 年 度 | ◆新規融資実績 件 数：3,608件 融資額：471億円 ※主に、新型コロナウイルス感染症等により売上が減少した事業者の「民間ゼ ロゼロ融資」の返済対応に寄与した。 |
| | 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ % |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

| | |
|---|--|
| (評価) 3 | 厳しい経営環境にある中小企業者の経営の安定化を図るために資金調達コストを軽減する必要性は高い。 |
| ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) | |
| 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) 2 | |
| | 原材料費や人件費の高騰等により資金繰りが悪化した中小企業者に対し低利で有利な融資を提供している。また、創業間もない事業者の資金調達に、低利で低信用保証料の本制度が貢献している。 |
| ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) | |
| 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている | |
| (評価) 1 | 融資や信用保証の審査を行う機関の事務が煩雑にならないよう、QAや手引の改正を行っている。 |

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

他の融資制度と比した利率や保証料補給率設定の妥当性。

既設資金の必要性及び新たなニーズに対応した資金の創設。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

景気動向に注視し、その時々のニーズに合った資金メニュー（金利、融資条件等）に改正しながら制度を継続する。